

お~ばらのじかん

第5号

2015 Summer

卷頭
特集

おばらの子育て『小学生編』

今どきのおばらっ子の小学校生活をご紹介

[特色のある学校教育] [通学について] [習い事] [学童保育について]

里山でぐんぐん成長！

[大事なことをせ~んぶ学べる読み聞かせの時間]

[ようこそ「ぺんぎん食堂」～小原からの発信]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原の考察] [小原いろいろ情報]



おばちゅう卒業まれ!
www.facebook.com/obachuu

特色のある 学校教育

※本城小学校のみ

子ども達の元気な掛け声と、迫力のある演奏はいつも会場を活気づけてくれるわ。

本城太鼓（打ちはやし）

3~6年生が参加するしの笛、和太鼓で構成される本城小の伝統となっている演技。入学式、運動会、学芸会等の学校行事や音楽大会、地元イベント(四季桜まつり)で演奏している。

参考 中部小学校では稲作づくりでの田植え、稻刈り、脱穀の作業は、全校生徒で行っています。もち米も栽培し、収穫したもち米で全校もちつき大会を行うのが恒例行事よ。

稻作づくり

5年生を中心に米作りの工程、もみまき、田植え、稻刈り、脱穀までを行う。収穫した米を学芸会で販売する。

※道慈小学校のみ

道慈ソーラン

4~6年生が参加。一生懸命練習した踊りを運動会や学芸会で披露する。

参考 中部小学校では6年生は、自分の卒業証書を和紙で手作りしています。世界で1つしかないオリジナル卒業証書をもって母校を卒業していくのが伝統よ。

和紙づくり

1~6年生が取り組む。動植物、景色等テーマに沿った絵を和紙で制作する。



四季桜まつり 打ち鳴子（本城小）

北コース、東コースはバス通学よ。
※北コース…前洞町、小原北町、小原田代町、大ヶ藪連町、雜敷町、川見町方面
東コース…東郷町、宮代町、刈萱町方面

中部小学校

徒歩通学とスクールバス通学

1、2年生が1人で下校することのないように授業後に6限目を設け(先生と一緒に遊びながら自由に過ごす時間)、なるべく上級生の児童と下校できるように学校が配慮してくれているので、助かるわ。

距離のある矢作区はバス通学よ。

道慈小学校

ほぼ徒歩通学。一部スクールバス通学。

山を越えて通学する班もあるのよ。高学年が低学年の面倒を見ながら、手を引いたり荷物を持つてあげたりして登下校することで、子ども達の心の成長に繋がっているのかかもしれないわ。

スクールバスは中学生も利用する為到着時刻は日によって多少異なる。

通学について

イカくんの小原日記・5 ギンちゃんの



おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク 検索
www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

おばら地区の情報ページ
『おばちゅう卒』是非登録してね!
www.facebook.com/obachuu



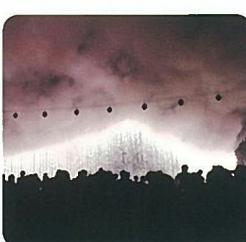
0565-5157 モニターランチ 8:30-15:00 音楽中

音や へんぎん食堂
M.T.



おばら地区の花火大会
8月15日 夕暮れ時

T.S.



8月15日
小原夏まつり

今年も小原夏まつり前日の14日には、軽トラあんさんバード。小原夏まつり当日は軽トラあんさんバード。投票、表彰が行われます。



おばらいベント
8月14日パレード
8月15日コンテスト

中 小原いろいろ情報

STAFF 小原白字感

編集後記

はじめまして。今年度、この「おばらのじかん」にはじめて参加させていただきました。会議を通して委員会の皆さんとの様々なアイデアや考え、熱い想いを感じました。自分も何かこの会で取り組めたらと思います。

G.K(今号編集長)

こども達と読んだ絵本は我が家の大宝です。ページをめくった瞬間の、うわあ!へー!なん?って心や頭が揺さぶられる楽しさや、同じ世界を共有する一体感。絵本を開くとそんなワクワクがよみがえります。もっと出会えるといいなあ。

K.K

小学生だった頃、自分は何を考えて生活していたんだろう?学校で友達と遊ぶこと、家に帰って遊ぶこと。なんだ!考えることは今と大して変わらないじゃないか!今日も家内に大きい子供が一人混ざつてると笑われる。

H.Y

自分の子は、小原で育ってはしかったので長女が小学校にあがる前に、街からUターンで帰ってきた。田舎に慣れるか心配したがすぐにカエルを捕まえてきて、こっちが困ったのを覚えている。今ではすっかり小原の子だ。

T.S

発行:2015年7月 【若者Uターン促進イベント実行委員会事務局 豊田市役所 小原支所】

〒470-0592 愛知県豊田市小原町上平441-1 Tel0565-65-2001 Fax 0565-65-3695 E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

今後、本誌の郵便を希望される方はご連絡ください。



ようこそ「ぺんぎん食堂」へ 小原からの発信!

原という所は何かを生み出そうと思う人にとってどうも魅力的な土地らしい…藤井達吉さんが小原に感じた引力地力に引き寄せられたのがオープン1周年を迎える「音や」だ。419号をたまご村から東へ100mほど上がった左側に「なに?ここ?」という店があるのは皆さんご存知でしょう。名前大で音楽教育を専攻していたマスターの加藤祐輔さん(33歳)が、音楽を愛する人たちの集まる場所を作りたい…など両親と始めた外装も内装も看板もすべて手作りのお店だ。店内へ入ると驚くのは、壁にも床にも楽器が置かれ、ピアノやギター、ヴァイオリン…クラシカルなものからジャズ、ロックまで、その数70点余りという。お客様は好きな楽器をさわりながらの音楽談義となる。かと言つて難しい話をするのではなく、歌謡曲もポップスもクラシックもジャズも含めて「音楽が好き」という人すべてにオープンな場所になっている。なので居心地はすごぶる楽な所だ。

毎月第1第3土曜の夜には「フリーライブ」という自分の歌や演奏を聞いて欲しいという人のためのイベントがある。これは外で待つ人が出るくらいの盛況で、県外から来る人も大勢いるとのこと。また第3土曜日のお昼には「おばら」の先生もしていった鎌田ユージンさんをラジオで、地元の人や近隣の人たちが歌いに集まつて来る。

また、食堂というからにはメニューも気になるところで、ランチタイムの週替わりランチが700円(手作りハンバーグなどおいしい)。そしてこれから暑い時期にオススメ、揚げたての天ぷらがのつた「冷やしうどん」。値段も450円とリーズナブルで、ファンが多い。テイクアウトも出来る自家製コロッケや珍しい一品餃子串コロッケも評判がいい。近場でのランチには是非。

マスターの祐輔さんは今、地元の主婦を中心としたゴスペルのサークルを作りたいという想いがある。小原から始まる新しい音楽発信にも大いに期待したい。

豊田市北篠平町川尻 492-2
0565-50-5157 音や・ぺんぎん食堂

豊田市の調査による小原の人口予測図を見ても、どちらにしても知識としては人口が減るのは予想はできるものの、こうしてグラフを見てみると、30年後には小原の人口はほぼ半分になる。人口を増やす施策は必要だが、切実だ。

小原の人口予測 小原に未来は!?

豊田市の調査による小原の人口予測図を見ても、どちらにしても知識としては人口が減るのは予想はできるものの、こうしてグラフを見てみると、30年後には小原の人口はほぼ半分になる。人口を増やす施策は必要だが、切実だ。

小原の人口予測 小原に未来は!?

豊田市の調査による小原の人口予測図を見ても、どちらにしても知識としては人口が減るのは予想はできるものの、こうしてグラフを見てみると、30年後には小原の人口はほぼ半分になる。人口を増やす施策は必要だが、切実だ。

小原の人口予測 小原に未来は!?

豊田市の調査による小原の人口予測図を見ても、どちらにしても知識としては人口が減るのは予想はできるものの、こうしてグラフを見てみると、30年後には小原の人口はほぼ半分になる。人口を増やす施策は必要だが、切実だ。

小原の人口予測 小原に未来は!?